

遷喬小だより 12月号③

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬
 ～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

充実した2学期 子どもたちの学びの姿は高まっています

本校では、2学期に公開研究授業や教育行政の学校訪問がありました。本校の取組や授業の様子について、しっかりと見ていただきました。参観者から次のような感想をいただいています。

- ・校内での統一感がある。
- ・教師と子どもがよくつながっている。「聴ききる」ことの大切さを教師と子どもとが共有している。授業のめあてを教師と子どもが共有し、授業のゴールを意識して取り組んでいる。
- ・掲示物がとてもよい。学びの足跡が残されている。子どもの主体性が発揮されており、学びの意味づけ、価値づけがなされている。
- ・「時・場・言葉」を整えることも大切にされている。
- ・とても気持ちのよい空間である。温かい雰囲気、子どもたちも安心して学習に向き合っている。
- ・子どもたちに活気があり、集中して学習に取り組んでいる。6年生の姿はよいお手本。指示を出した瞬間にグループでの話し合いが始まる。積み上げの証。
- ・いろいろなことに挑戦できる。より高みを目指してほしい。

「聴ききる」ことや子どもたちの主体性を大切にした取組の成果が表れてきていると感じています。まだまだ課題はありますが、子どもたちのために、より高みをめざして、努力を続けて参ります。

班で学び合い！お互いの気づきを出し合います！



よりよいイベント目指して班で企画会議！



班でまとめたことの発表！自分の言葉で伝えます！



パソコンも駆使して班で練習合います！



友達の発表に注目！聴ききる姿いいですね！



みんなの前で今日の学びを発表！振り返りが大切ですね！



学校評価 皆様の声を学校経営に生かしていきます

学校評価（保護者アンケート）をお願いしたところ、81%（昨年比+7%）の皆様から回答をいただきました。多くの保護者の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

学校教育に対する肯定的評価（A+B）は、昨年度と比較して15項目中13項目においてアップしています。【平均92.2%（昨年比+2.1%）】

また、15項目中11項目が90%以上でした。

特に、伸び率の高かった項目は、次の4項目でした。

「子どもは『学校へ行くのが楽しい』と言っている。」

「学校は子どもがしっかり話を聴けるように指導している。」

「学校は子ども同士の呼び捨てや言葉遣いの改善に努め、適切な関わり方や集団作りを推進する取組を行っている。」

「学校の職員は子どものよさを認めたりほめたりしている。」

最も低かった項目は、

「学校の職員は子どもの話を聞いたり相談に乗ったりしている。」（85.3%）

昨年度より4.3%高くなっていますが、子どもたちの困り感にしっかり向き合えるよう努めていきたいと思えます。ご家庭でも気掛かりなことがありましたらご相談ください。さらに連携を深めていきましょう。

今年は、コロナ禍のなか様々な制約を受けながら、工夫を重ねて取り組んでまいりました。不十分な点もあったことと思えますが、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を得て一つずつ乗り越えていくことができたと感じています。

今後とも、子どもたちにとって「楽しい学校」をめざして、日々の授業や行事をさらに工夫することと、子どもたちのエネルギーをより高めていくために何ができるか努力していきたいと思えます。

家庭教育の評価は15項目中9項目がアップしました。

特に達成率が高い（95%以上）項目は、以下の6項目でした。

「しつけや間違った行動に対してきちんと指導している。」

「学校からの文書等に目を通す。」

「子どもがだれにでも気持ちのよいあいさつができるように教えている。」

「朝食は必ず食べさせる。」

「学習用具やハチネボを忘れないように気をつけさせる。」

「親子で会話したり、一緒に活動する機会をもっている。」

大きな課題となる項目が、1つあります。

「メディアのルールを決め、『9時以降は使わない』『1日1時間まで』などのルールを子どもに守らせる」63.1%（昨年比-7.7%）

学校では全学年でメディアコントロールの指導を行っていますし、PTA講演会においても「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。ご家庭におかれましては、再度十分にメディアコントロールについて話し合い、依存症やネット被害を予防してください。

その他、ご意見やご感想もいただいております。詳細については3学期に別紙にてお伝えします。